



次の 首都直下地震に備えて いまできること

関東大震災以降、首都圏を震源とする巨大地震は起きていません。都が昨年公表した首都直下地震の新たな被害想定では、市において立川断層帯地震(M7.4)による被害が最も大きくなると考えられています。首都直下地震は今後30年以内に発生する確率が70%と高い数字で予測されています。大地震に備えて何を準備すればいいか、考えてみましょう。

■都による国分寺市の被害想定(「立川断層帯地震、冬の夕方 風速：8m/秒」の想定より抜粋)
死者104人・負傷者1,420人・建物全壊869棟・建物半壊2,086棟・焼失棟数2,702棟・
避難者26,738人(避難所避難者17,825人・避難所外避難者8,913人)・帰宅困難者10,696人
注詳しくは市HP [検索](#)1002441をご覧ください



→防災安全課(内226)

自助・共助の取組への支援

●木造住宅耐震化支援事業

一定の基準を満たす木造住宅に対して耐震診断を無料で行い、耐震性が無いと診断された住宅の改修や除却の工事費用の一部を助成

注市HP [検索](#)1027860



→まちづくり推進課(内453)

●ブロック塀等撤去工事等にかかる費用の一部助成

高さ1mを超えるブロック塀等の撤去工事、その後のフェンス等設置工事(道路路面のみ)に対し費用の一部を助成

注市HP [検索](#)1002259



→建築指導課(内492)

●家庭用防災用品購入費補助事業

家庭で備える防災用品の購入に対し補助金を交付。5,000円を上限に1/2補助

注市HP [検索](#)1030191



●感震ブレーカーの支給

一定以上の地震の揺れを感知した場合にブレーカーを落とす器具。木造住宅密集地域や同等の地域にお住まいの方や、それ以外の地域にお住まいの75歳以上の方を対象に支給

注市HP [検索](#)1018586



●防災用品などのあっせん事業

感震ブレーカー、家具転倒防止器具、備蓄食料、非常持ち出し品などを定価より安く購入可。器具などの設置代行も実施

注市HP [検索](#)1014680



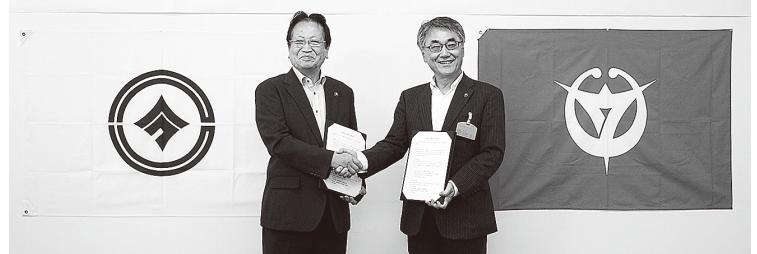
→防災安全課(内511)

災害時相互 応援協定を 締結

大規模災害発生時に、迅速かつ円滑な応急対策および復旧対策を相互に支援することを目的として、7月26日に、富山県魚津市と「災害時相互応援に関する協定」を締結しました。本市は新潟県佐渡市・宮城県多賀城市・福岡県太宰府市・奈良県奈良市・長野県飯山市とも災害時相互応援協定を結んでおり、富山県魚津市で6自治体目となりました。

→防災安全課(内226)

国分寺市・魚津市 災害時相互応援に関する協定締結式



避難行動要支援者登録制度の 登録者のお宅を訪問 9月11日(月)～10月6日(金)

注制度登録者

注民生委員・児童委員や市職員が安否確認訓練のため訪問

注民生委員・児童委員が欠員の地区は登録者のうち一部実施



●避難行動要支援者登録制度とは

注災害時に自力での避難が困難な方

注地域の支援者(市災害対策本部、民生委員・児童委員協議会、市社会福祉協議会、国分寺消防署、市消防団、小金井警察署、自治会・町内会)が、安否確認や避難の支援を行うための避難行動要支援者登録制度を実施。対象者(*)に情報提供同意書をお送りしているので、市へご返送ください
(*)①介護保険の要介護4・5の方②身体障害者手帳1・2級の交付を受けている方※内部障害に関しては呼吸器障害の方のみ③愛の手帳1・2度の交付を受けている方④精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方

●支援が必要な方は申請を

高齢者・障害者・妊産婦など、災害時に支援が必要な方を対象に、名簿登録を随時受け付けています。

注申請書を直接または郵送で〒185-8501地域共生推進課(市役所第2庁舎)へ

注申請書配布地域共生推進課で※市HP [検索](#)1002451からダウンロード可



→地域共生推進課(内566)

市役所への申し込み・問い合わせの時間は、特記がない場合は月～金曜日(祝日を除く)8時30分～17時(12時～13時を除く)の受付となります。